



## 東海小学校 よのなか教室「学ぶことと継続の大切さ」

東海小の5年生が、旭化成延岡支社の湯浅正敏さんから「学ぶことの大切さ～旭化成の事業展開と製品づくりを通して」というテーマでお話を聞きました。湯浅さんは、旭化成の歴史や現在の生産の状況などを、映像や資料を使って分かりやすく説明してくださいました。「新しい技術や製品が世の中を変える」ことやノーベル賞受賞者の吉野彰さんの事例をもとに、「失敗があっても成功がある」こと、さらに、「大きな志を持とう」「グローバルな視点を持ち、世界を見据えよう」など、将来の指針になる言葉がたくさん出て来て、子供たちも夢を膨らませている様子でした。

<令和2年2月20日実施>



【湯浅正敏さん】



【授業の様子】

## 延岡高校 オンライン授業 ～「探究するということ」～

5月18日(月)、キャリア教育支援センター長の水永正憲さんが、延岡高校メディカル・サイエンス科の1年生(80人)を対象にオンライン授業を行いました。これは、今般のコロナ禍への対応の一つとして遠隔による授業をとという要望に沿って実施したもので、延岡市駅前複合施設エンクロス様のご厚意により、エンクロス特設会場と延岡高校の体育館を結び、オンライン授業を行うことができました。延岡高校のメディカル・サイエンス科では、1年生が、探究学習「SDGsフィールドワーク」を行っていきます。その第1回目として、水永さんが、「探究」とは何かというテーマで

講話を行うということになりました。生徒は、スクリーンに映る映像資料や音声にうなずいたり、メモを取ったりしていました。授業の最後には、質疑応答の時間もあり、探究や仮説に関すること、事例として出された健康問題についてなど、活発な質問が出されました。また、オンライン授業について、「声がよく聞こえて、分かりやすかった」という生徒の声もあり、今後につながる授業にすることができました。



【オンライン授業の様子】

【水永正憲さん】



「探究」するということ

延岡高校 MS科1年  
SSH SDGsフィールドワーク

令和2年 5月18日

延岡市キャリア  
水永 正憲

## 幼児期から始める進路学習は「あり？なし？」

延岡市立東小学校 校長 末廣 恭雄

幼小中一貫校に勤務した経験から、中学部に進学してからの進路指導を目の当たりにしてきた。先生方は、実に丁寧に意図的・計画的に高校受験に向けた準備をする。その一方で、子どもたちは漠然とした自分の将来像をボンヤリ見つめながら（一部の生徒かもしれないが）、先生や親の考えるレールに乗ろうとする。結果的に「行きたい学校」と「行ける学校」の狭間で悩む。

もう少し早い時期から、受験を意識しながら自分の将来の夢や希望を実現するための準備ができないものだろうか。もちろん、やりたい仕事やあこがれの仕事は成長するにつれて変化する。個人差も大きいことだろう。単に「仕事を決める」のではなく、働くことの価値を見だし、その実現のための選択肢を増やす学びをするのである。幼児期は家族をはじめ人とのかかわりを重視し、小学校低学年では係や当番活動を通じて他に貢献することを学ぶ。中学年では地域社会に欠かせない「仕事」について考え、高学年では自分を生かす働き方を模索し、その実現のための高校や大学を調べる。生活科や総合的な学習の時間が、子どもの将来とリンクして輝くキャリア教育の時間とならないだろうか。



## 幼い頃の思い出

延岡市立恒富小学校 校長 青野 秀靖

小学校では、豊かなキャリア教育の実践によって、家族や友達、身近な地域の人々との関わりを通して、人々への関心や信頼感を高め、他者を理解するための基礎となる力を養い、自らの責任を果たしつつ相互に支え合って様々な集団や社会を築いていることに気付かせ、子どもたち一人一人が集団としての学校や家庭、社会の一員であることを、実感を伴って理解できるようにすることが重要であると考えられています。

私の小学校時代は、子ども会活動や地域の行事が盛んで、上級生が下級生にいろいろな遊びや地域の行事での役割を教えていました。また、地域の大人の方たちとの関わりもたくさんありました。その中で、上級生や下級生、地域の大人と顔見知りになり、地域のことを学ぶことができました。

昨今、子ども会活動があまり盛んでなくなってきていますが、子ども会活動は、子どもと地域社会をつなぐ大きなキャリア教育の場であるなと感じています。

## キャリア教育実践交流会

6月18日(木) 社会教育センター会議室2 19:00~

本年度、最初の実践交流会です。自由な意見交換の場です。ご参加を待っています！！

## 延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0824 宮崎県延岡市中央通 3-5-1 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682

<http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167

敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539

酒井康行 ☎ 090-2587-7837

✉ mizmas228@gmail.com

✉ sate815@ma.wainet.ne.jp

✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp